

2 継続して取り組んでいること

1)公園の充実

私は政治家の役割は「如何に人の幸福人生に貢献できるか」にあると考えています。
そして幸福の形は人それぞれ違うことを認識した上で、自らの人生観として特に「産業の発展（経済基盤の充実と人の成長機会の場）」と「人と人との繋がり」が大切と考え、その実現の為に自らが動くことで実現できる交流の場としての公園の充実に継続的に取り組んでいます。
具体的には令和元年6月より右記2公園の掃除を毎月行い、2公園とも今では芝生化し子ども達だけではなく、多世代が散歩をしたり集ったりできる状況になっています。



2)アプリの普及促進

現在高砂市では行政施策の浸透とSDGsへの取り組み促進を目的に下記2つのアプリを運営しています。私自身も高砂市民の皆様がこれらを有効活用することがより良い環境を作ると共に誇りの醸成になると信じ普及促進を行なっています。是非皆様この2つのアプリの利活用をよろしくお願いいたします。

01 たかさごナビ中の「たかさごレポート」

道路や公園の危険箇所、その他日常生活での困りごと等についての改善要望を行政にその場で即報告・要望できる仕組みです。

詳細はリンク先QRへ



02 ダストる・たかさご

専用アプリで高砂市内のごみ拾い活動を見える化するサイト。ユーザー同士が感謝を伝え合うことで社会貢献感を得ることができます。

詳細はリンク先QRへ



3 浅野新後援会長のご挨拶

鷹尾治久後援会会長が武田義規より浅野康幸に交代致しましたのでご報告の上、以下の通りご挨拶申し上げます

このたび、鷹尾治久氏の後援会会長を拝命いたしました浅野康幸でございます。微力ながら、地域の皆様とともに鷹尾氏の活動を支えてまいりたいと存じます。
鷹尾治久氏は、誠実で情熱あふれる人柄の持ち主であり、これまで高砂市議会議員として四期にわたり、市民の声を真摯に受け止め、地域の課題解決に尽力されてきました。
特に「声キャッチ即行動」を信条に、危険箇所の改善や公園の芝生化など、生活に密着した取り組みを地道に続けてこられた姿勢には、深い敬意を抱いております。
私自身も製造業に携わる者として、鷹尾氏の「産業振興を通じた人の幸福実現」という理念に強く共感しております。地域経済の活性化と人と人とのつながりを大切にする鷹尾氏の活動は、今後の高砂市の発展に欠かせないものと確信しております。
後援会としては、鷹尾氏の思いをより多くの方々に届けるべく、地域の皆様との対話を大切にしながら、活動を進めてまいります。何卒、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



鷹尾治久後援会

会長：浅野 康幸 副会長：足立 善美、久保 博司、上別府 宏行、三浦 建太郎 幹事：谷口 誠也
会計：政井 大知 監査：國塚 伸一

たかお治久の考えや活動は、日々更新しています。

「たかお治久の活動報告」ブログ(右QRコード)でも掲載しています。是非ご覧ください。
今後とも、ご支援よろしくお願いいたします。 <https://ameblo.jp/kosei0421/>



たかお治久HP



たかお治久ブログ

ぜひ、アクセス
して下さい!!



日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。 連絡所 TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)

高砂市議会議員

はる ひさ

たかお治久

後援会報

活動報告 No.35

■発行／2025年11月

■編集発行／鷹尾治久後援会

■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております、 高砂市議会議員のたかお治久です。

さて、現在の高砂市には具体的喫緊の課題として高砂市民病院のあり方がありますが、将来を見据えた時には、人口減少社会の中での小中学校含む公共施設のあり方、長寿社会での移動手段(公共交通)のあり方、持続可能な地域コミュニティのあり方等々、その他にも多数の課題を抱えています。

この様な状況下、私が議員として拘る2つの観点は①産業の発展(経済基盤の充実と人の成長機会の場) ②人と人との繋がりです。

これまで経験をしたことのない人口減少・高齢化社会を迎える中でも、如何に産業の発展と人と人との交流を促進できるかに価値観を置いて、様々な課題に対し議員としてチェックと提言、更には自分にできることの実践を行なってまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の後援会報では9月に改選されたこれから1年の市議会内の体制と、私が6月議会にて行なった一般質問(Q & A)をメインに報告させていただきます。

私は引き続き会派(明風会)の代表を務め、文教厚生常任委員会と議会運営委員会に所属し、更に社会教育委員としてこれから1年の議員活動を行なっていきます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。(*以下に高砂市議会内の役割表を掲載)



常任委員会

議長：川端宏明 副議長：森秀樹



総務	○松野優也	◎岩見明	北野誠一郎
	今竹大祐	森秀樹	坂本まり 芝本鎮彰
文教厚生	○入江啓太	大西由紀	鈴木利信
	島津明香	◎迫川高行	鷹尾治久
建設環境経済	◎山田光昭	横田英樹	藤森誠
	○春増勝利	石崎徹	川端宏明

◎委員長

○副委員長

尚、議員として15年間継続してきました日々の活動報告ブログサイトが10月1日より(右記QRコード参照)切り替わっておりますので、お知らせさせていただきます。今後とも引き続きご覧頂きたく、何卒よろしくお願い申し上げます。



たかお治久のブログ

総論

今回の一般質問では、起承転結の形で、現在高砂市が最上位計画として進めている「高砂市第5次総合計画」における現段階での総括的な結果への評価とその結果に対する分析と対策を如何にやってきたのかを問うた上で、自分なりの提案を行い、市長の考えを問いました。
結論としては、目指すべき姿に対する未達成状況への分析不足を感じましたが、一部提案が受け入れられたと思えることから、これからも粘り強くチェックと提言を行なっていきたいと考えています。



起承転結 どうなった、定めた目標

重点評価指標（右記参照）は7項目が設定されているが、その設定の意図は。



重点評価指標は高砂市の2030年の姿に向けて取り組みが改善すると考えられる指標を事業の評価や分析のために設定した。

重点評価指標(7項目)の評価

①総人口	×(想定以上に減少)
②人口1000人あたりの出生数	×(トレンド反対)
③転出超過者数：増加	×(トレンド反対)
④市内事業所の従業員数	?(令和4年以降データ無)
⑤高砂市が住み良いと思う人の割合	×(令和5年結果)
⑥SDG'sの取り組みを実践している人の割合	○(令和5年結果)
⑦公共施設の延床面積縮減率	×

行政が「人口減少社会への対応」を何故最大の課題のうちの1つとしているのか。

人口減少や少子高齢化が進むことにより労働力不足の深刻化に伴う企業の生産性の低下や経済成長の鈍化、若年層が減る一方で、高齢者が増えることによる年金や医療などの社会保障制度への負担の増大、税収の減少に伴う子育て支援や教育、インフラ整備、公共施設の運営など、様々な分野での市民サービスの低下、若年層の都市部への集中による地域全体の活力低下や地域社会の衰退、若年層の減少に伴う国内消費の落ち込みや経済への悪影響など、住民生活への様々な影響が懸念されております。

総合計画で掲げる「2030年の高砂市のあるべき姿」にも賛同するし、各部署はバックキャストで定められたであろう事業に対し一生懸命に取り組んでいると考えているが、結果を見ればほぼ全ての項目において望ましい方向とは反対に向かっている。各部署は頑張っているけど、トータルとしては結果が出せていない。これは何故なのか、これを考えるのがリーダーであり、行政で言えば市長、都倉市長ではないのか。各部署は頑張っている、またもし頑張っていないなら、自らの考えを自らの働きかけで相手や組織の心に火を灯し、頑張るようにリードする。そして全体を俯瞰して手を打ちながら、目指すべき姿、その評価となる指標の達成を実現する。これこそがリーダーが背負う役割であり責任ではないのか、どうお考えか。

毎週、各部長と行う報連相会議や隔週での部長会議、また行政経営推進本部などに置いて私の考えや目標に対しての指示を伝えてはいるが、決められた場以外でも柔軟に場を設けて指示を行なっている。今後も目標に向かって各部署が一丸となって取り組んでいけるよう、リーダーとして組織をまとめて行く努力を行なってまいります。



起承転結 PDCAのCがキャンセルになってない？

令和6年度第4回高砂市総合政策審議会の議事録に「政策目標と実践との関わりが重要である。計画にはいいことが書いてあると思う。ただ現実には実践がどうできていったかのチェック、PDCAのCの部分が大事である。各部署で事業を挙げてあるが、それをどこで確認されたのかが非常に気になる。チェックのCであってキャンセルのCになったらいけない。チェックが機能していないと、次のアクションに行けないので、お願いしたい」との発言がある。令和6年度までの結果のトレンドから判断するに、何らかの修正が必要と考えるが令和6年度のCはどう行われたのか。そしてそのCがどの様に令和7年度のPにつながっていったのか。市長は、どの様な分析結果に基づいて、俯瞰的にどの様な手を打たれたのか、具体的に分かる様にご説明を願いたい。

重点評価指標の中でも特にご意見をいただくことが多い人口に関する指標を中心に振り返りを行なっている。20歳代の転出超過が顕著な状況が続いており本市の長年の課題である。若い世代が本市を選んでいないこの状況を改めて認識し、明るい未来を感じることができる施策展開が必要であると判断した。(その後も答弁あり)

起承転結 利用者目線に立っていますか？

野球場にも陸上競技場にもエレベータは無いが、車椅子の方が観戦にこられた時の対応はどうなっているのか。そして何故これまでこの様なことに気が付かなかったのか。

議員から指摘のあった件につき指定管理事業者に改善指示を出したにも関わらず確認ができておらず対応が遅れたことについては反省している。気が付かなかったことについては、多様な目線に立った施設運営ができていなかったことが理由であり大いに反省すべきところでございます。



総合公園で大きな大会が開催された時には駐車場の定められた場所以外にも駐車されている上、更にあふれた場合は周辺の道路に駐車している。これらに対するルールはどうなっているのか、またそのルールが守られる様に管理されているのか。そして誰が責任を持って管理・運営しているのか。

大きな大会等の場合は大会主催者による臨時駐車場への誘導係の配置や館内放送による車の移動を呼びかけているが現実にはルールが守られていなかったり混雑が解消されていない状況である。(その後も答弁あり)

起承転結 出来ることを何でもやりましょう！

あらゆることにおいて目指すべき姿に対し、組織が何をやらなければならないのかを自らが考える組織へ脱皮していくことが重要ではないか。そして見つけた課題解決の一つ一つが重点評価指標のうちの1つである「高砂市が住みよいまちと思う人の割合」の向上にもつながっていくのではないかと、できることは何でもやるとの決意で、今改めてチェックをし、改善を加えていくべきではないか？お考えを聞かせて頂きたい。

(一等一問方式でなかった為にこれに対する具体的回答はなし)

*上記は一般質問(質疑)の抜粋です。詳細はインターネットにて録画放映されていますのでご視聴頂きたくよろしくお願いします。

高砂市議会
インターネット中継

